

さくら保育園

令和7年度 命を守る指導 園だよりにて

保育園では、月1回の避難訓練と様々な命を守る行事を行っています。その都度園だよりにて保護者の方にお知らせをしています。

☆4/14(月) バスのクラクションをならす練習をしました。 ☆4/16(水) 避難訓練をしました。

【大切な命を守ります】

先日うさぎ組さんが、バスのクラクションをならす練習をしました。数年前のニュースで報道された事故を受けて、二度とこのような痛ましい事故が起きないように、毎年行っています。「バスでひとりになってしまった時には、クラクションをならして助けてもらいましょう」と担任より話を聞いてひとりひとり押しました。子どもの力では難しく力いっぱい押さないとなかなか鳴りません。子ども達は真剣な様子で取り組んでいました。



毎月一回「避難訓練」を行っています。今回は【非常ベルの音を聞き、非常ベルの意味を知る】という訓練をしました。初めて聞く音にビックリして泣いてしまう園児もいましたが、さすが年長組さんは、ベルを聞いて机の下に隠れて、放送をしっかり聞く事ができました。



☆6/2(月) 交通安全指導日 「雨の日の歩き方と傘の使い方について」

以上児全員が遊戯室に集まって指導を受けました。実際の傘を用いて、危険な歩き方と上手な歩き方を実際に見せ、子ども達と一緒に考えながら行いました。後日実際に雨が降った日には学年毎ではありましたが、傘をさして園庭を歩いて体験しました。

- 1・軒下で人がいない 2・皆で上手に歩きます 3・傘を閉じます 4・縛ります

方向に向け傘を開きます。 **しょうがくせいみたい**



☆6/6(金) 不審者対応訓練

年1回職員も真剣な顔で臨む訓練です。今回は園庭で子ども達が遊んでいる所に「不審な人発見！」から訓練が始まりました。すぐに子ども達を安全な場所に避難させ、不審者に対応し、警察署の方が到着するまでさすまた等で応戦…子ども達の命を守るため職員も真剣に取り組みました。子ども達はDVDとおまわりさんからの大切なお話をきいて「知らない人にはついていけない」事等を学びました。



(さすまたで不審者
を取り押さえる事
が出来ました)

(不審者とは距離をとると良いと、指導をうけました)

職員が不審者との応戦中子ども達は、安全な場所に速やかに避難していました。

(大きい声を出して助けを求める事を練習しました。)



たすけてえ！
いやや！



DVD も真剣に見ました。

☆6/9(月) 避難訓練

(暴風雨警報を想定し、雨具を着てさくらの郷 5 階に通じる入り口を確認する。)

高い所に避難して命を守る訓練のため、今回は入り口の確認をしました。ベルの音と放送を聞いた後、カバンから合羽を出し、自分で着て避難しました。未満児さんは、避難カートに乗り、頭の上辺りに雨除けカバーを被せ(もちろん呼吸確保しています)避難をしました。以上見全員合羽の持参があり無事避難できました。(10/8 実際に垂直避難の訓練を実施)

☆6/30(月) 古川西小学校と合同で引き渡し訓練をしました。

「災害非常時、又は不審者による事件等に備え、園児を安全かつ確実に引き受け者に引き渡せる方法を小学校と連携し、保育園と保護者が確認する。」を目的として毎年行っています。お仕事でお忙しい中、保護者の方がご都合を合わせ、ご協力くださりありがとうございました。訓練が無事行えたこと感謝申し上げます。13:30 のメール配信後最初のお迎えが 13:31 でした。引き渡し完了が 14:30 でほぼ 1 時間かかる事がわかりました。訓練を繰り返すことで、実際(ない事を祈りますが)起きた時に、職員も落ち着いて行動し、安全かつ敏速に引き渡せられ、園児の安全を確保できるという確信が持てる事にも繋がる大切な訓練です。今後も続けていきたいと思えます。

☆9/1(月) 防災の日に避難訓練をしました。

9/1 は防災の日であることから、園でも避難訓練をしました。地震想定 of 放送が入り子ども達は皆机の下に隠れます。その後放送の指示に従って防災頭巾をかぶって園庭に避難しダンゴムシのポーズになっていると、園舎が火事になり古川西小学校まで避難をしました。

その際子ども達は、 をしっかり守っていました。

毎月の繰り返し行う訓練の大切さを感じました。その日の給食は防災食で、火は使わず、温かくないご飯に温かくないカレーでした。いつもの温かい給食、平穏な日常のありがたさをしみじみ感じられた1日でした。

※振り返り

*園児の避難する様子から、訓練時はいつも「お・は・し・も」の約束を守り、又火災の訓練時はハンカチで口を覆っている園児がいるなど、繰り返しの大切さを感じる。

*災害別のマニュアルがあるため、全職員が把握しスムーズに訓練が行えた。

*避難訓練後職員会で反省を含め振り返る事で、課題や変更事項が話し合えるため良い。

『今年度変更した部分』*未満児の避難経路に安全性が懸念されたため変更する。

*遊戯室に待機した時はすぐに外に出られるように、掃き出し窓付近で避難出来る体制とする。

*避難持ち出しグッズも看護師が毎回実際に持ち出していた方が、緊急時慌てることなく対応できるのではないのか…毎月持ち出すように変更する。

令和7年度避難訓練実施内容

月日	計 画	内 容	子どもの様子・反省
4/17	非常ベルを聞く	・非常ベルを鳴らし、園児にベルの意味を知らせる。	・ベルの音を通常時より長く鳴らす。未満児は泣く事なく聞く事が出来た。以上児はベルの音に素早く反応して机の下で身を守り、放送の話をしっかり聞いた。 ・今後は様々な想定で行うため丁寧に伝え指導する。
5/14	火災発生（一斉保育中） 遊戯室避難 「お・は・し・も」の指導	・非常ベルを聞き、放送の指示に従い、遊戯室に避難し、「お・は・し・も」の指導をする。	・近隣の家の火災を想定ベルの音で非常時と感じ、放送の指示に従い遊戯室に避難する。避難をする際口を手で覆っている園児もいた。今年度初めて避難したため「お・は・し・も」の約束をする。園児は保育士の話に頷いたり、答えたりと良い反応をみせていた。
6/9	暴風雨警報（一斉保育中）	・雨具を着てさくらの郷5階に通じる入り口を確認する。	・放送の指示に従い、自分で合羽を着て避難する。未満児は避難車にカバーを被せ雨から園児を守った。合羽常時カバンに入れてあるが、着る事は初めてであったため、避難するまでに時間がかかった。スムーズに着られるように、練習が必要である。
7/23	地震発生(午睡中)	・ベル音で目を覚まし、布団を被り身を守る。 各クラスで指導する。	・午睡中の訓練を行う。ベルの音で起きて自分のお昼寝布団を被って身を守った。どの学年もベルの音のみで全員が起きる事が出来ず、担任の声掛けが必要だった。驚いて泣く園児はいなかった。午睡中にも災害が起きる事がある事を再度指導した
8/25	火災発生（一斉保育中） 第一避難所【さくらの郷】	・裸足保育期間中、裸足のまま上靴を履いて園庭に避難し、クラスごとに並ぶ。 第一避難所に避難する。	・裸足保育期間のため、上靴をロッカーより出して履き、園庭に避難する。その後命の危険が懸念されると想定しさくらの郷に避難する。「お・は・し・も」の指導を再度行う。保育園が火事という設定で園庭に避難する事は危険ではないかと反省をし、来年度はさくらの郷へすぐ避難をする訓練とする。
9/1	地震・火災発生（防災の日） 第二避難所 【古西小グラウンド】 ※ 防災の日に実施する	・防災頭巾を被り、上履きのままクラスごとに園庭に避難する。その後火災が発生し、第二避難所に避難する。クラスごとに並ぶ。 【古西小グラウンド】	・防災の日に合わせて訓練をする。上靴のまま外に出る事を躊躇する事なく行えた。西小学校まで距離はあるが、お話しせず静かに移動できた。 ・給食は災害時を想定して、火を使わなくても良い防災食とした。
10/6	通報訓練・防災訓練 (飛騨消防署による指導)	・通報訓練ののち防災訓練を合わせて実施し、話を聞いたり、映像による指導を受ける。煙体験や、消防車両の見学をする。	・火災を想定した防災訓練を行った。実際に消防署に通報したため職員の訓練ともなった。女性消防団の方の紙芝居やDVD、講話、煙体験や消防車や救急車を見たり、実際に乗れ子ども達は、命を守る事について、楽しく学ぶ事が出来た。年長組は消防隊のお洋服も着れ満足そうだった。
10/8	暴風雨警報（一斉保育中） 遊戯室からあさぎり	・放送の指示に従い、遊戯室に避難し、その後、あさぎりに避難をする。クラスごとに並ぶ。	・大雨が降った場合の訓練をした。保育園に居ては危険と判断し、垂直避難をした場合の経路と手順を実際行って確認をした。玄関で靴の脱ぐだけでもバタついたりした事など検討課題が見つかったため職員会で話し合っ今後活かす。
11/12	地震発生（自由保育中） 午後実施・停電時を想定	・停電時にはベルが鳴らないので、鐘の音で異常を知らせる。上靴のまま園庭又は遊戯室に避難する。クラスごとに並ぶ。	・危険を知らせる手段がいつものようにベルではなく鐘であったり、放送ではなく拡声器ではあったが、緊張感の中で防災頭巾をかぶり遊戯室に避難をする事が出来た。給食室の職員も午後という事もあり全員が参加出来た事で、危険な事や自分たちの避難経路、又給食室前の廊下にある下膳カートの位置や状態等今後の検討課題が見つかり良かった。

※ ベルが鳴ったら机の下にもぐり、放送の指示に従う

☆ 園長…ベル鳴らす・全体指示 ☆ 主任…園内最終確認 ☆担任…クラス全体把握